

港湾・海岸事業 事後評価について

計画6:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](地域活性化)

計画7:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)

計画8:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)第2期

計画9:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)

計画10:「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)第2期

計画11:博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

目次

資料4ー1 事後評価シート

資料4ー2 事後評価説明資料

令和7年12月
福岡市 港湾空港局
港湾計画部 事業推進課

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現〔重点〕（地域活性化）											
計画の期間	令和２年度 ～ 令和６年度（５年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、 「国際物流」「観光・交流」及び「環境」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。 「国際物流」九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化を図る国際物流拠点の形成。 「観光・交流」観光促進、日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化。 「環境」自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,034 百万円	A	2,034 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1d末)	(R4d末)	(R6d末)
1	国際物流拠点の形成に向け、土地分譲の前提となる臨港道路の整備により、物流施設の立地面積（アイランドシティ地区）を増加させる。	56ha	70ha	74ha
	物流施設の立地面積（アイランドシティ地区）〔ha〕			
2	港湾緑地（アイランドシティ地区）の整備により、港湾を訪れる市民に親しまれる親水空間の形成を図り、緑地利用者の満足度を増加させる。	0%	0%	55%
	港湾緑地（アイランドシティ地区）の利用者満足度〔%〕			
3	藻場の造成等を行うことにより、水底質改善や生物の生息空間の創出を図り、藻場共生動物の確認種数（延べ）を増加させる。	11種	24種	28種
	藻場共生動物の確認種数（延べ）〔種〕			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎:計画期間中に完了　○:計画期間中に一部完了　△:その他(中止,未実施等)）												
【港湾事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ1号線 道路整備	延長 L=100m 道路植栽 L=1,025m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ道路整備	延長 L=2,036m 道路植栽 L=1,450m	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ緑地整備	面積 A=6.7ha	博多港・アイランドシティ地区	○	
A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	水質浄化	和白海浜（藻場）整備	面積 A=0.1ha、モニタリング調査、底質改善、栈橋撤去	博多港・和白地区	○	

2. 事業効果の発現状況，目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の整備を実施することにより、国際物流拠点の形成が促進されるなど、港湾機能の充実・強化が図られた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
	指標① 物流施設の立地面積(アイランドシティ地区)	56ha	74ha	74ha	臨港道路の整備を進めた結果、物流施設の立地面積の着実な増加が図られた。
	指標② 港湾緑地(アイランドシティ地区)の利用者満足度	0%	55%	95%	港湾緑地の整備を進めた結果、緑地利用者の満足度向上が図られた。
	指標③ 藻場共生動物の確認種数	11種	28種	57種	藻場造成等を進めた結果、藻場共生動物の増加が図られた。
3. 特記事項(今後の方針等)					
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「物流」「人流」「環境」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。					

計画⑦ 港湾事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現〔重点〕（防災・安全）											
計画の期間	令和２年度 ～ 令和６年度（５年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の確保に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 （A＋B＋C＋D）	258 百万円	A	258 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R1d末）	（R4d末）	（R6d末）
1	港湾施設について、適切な整備・改良を行うことにより、博多港の防災機能の確保、利用者の利便性・安全性の向上、施設の延命化を図る。	0箇所	1箇所	1箇所
	港湾施設の整備・改良〔箇所〕			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎：計画期間中に完了　○：計画期間中に一部完了　△：その他（中止、未実施等））												
【港湾事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	香椎かもめ大橋 改良	延長L=510m	博多港・香椎パークポート地区～アイランドシティ地区	◎	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の改良を実施することにより、港湾機能の確保が図られた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
	指標①(港湾施設の整備・改良(箇所))	0箇所	1箇所	1箇所	港湾施設の改良を着実に進めた結果、目標値を達成することができた。
3. 特記事項(今後の方針等)					
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。					

計画⑧ 港湾事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現〔重点〕（防災・安全）第2期											
計画の期間	令和5年度～令和6年度（2年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の強化に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	283 百万円	A	283 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1d末)	(R4d末)	(R6d末)
1	海上輸送機能と連携した緊急輸送物資等の輸送機能確保のため、改良が必要な施設の改良達成率を 0 %から100%に拡大する。	0%	100%	100%
	改良が必要な施設の改良達成率 [%]			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎:計画期間中に完了　○:計画期間中に一部完了　△:その他(中止, 未実施等)）												
【港湾事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	香椎かもめ大橋 改良	延長L=510m	博多港・香椎パークポート地区～アイランドシティ地区	◎	
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	香椎かもめ大橋 改良（その2）	延長L=279m	博多港・香椎パークポート地区～アイランドシティ地区	○	R7d完了予定

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況				
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の改良を実施することにより、港湾機能の確保が図られた。		
Ⅱ 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値
		結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
指標①(改良が必要な施設の改良達成率(％))		0%	100%	50%
目標値の達成には至らなかったが、限られた予算のなかで、緊急性や重要性を考慮した優先順位を踏まえ、着実に港湾施設の改良を行った結果、施設の安全な利用や延命化を図ることができた。				
3. 特記事項(今後の方針等)				
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。				

計画⑨ 港湾事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現（防災・安全）											
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の確保に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	356 百万円	A	356 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1d末)	(R4d末)	(R6d末)
1	港湾施設について、適切な整備・改良を行うことにより、博多港の防災機能の確保、利用者の利便性・安全性の向上、施設の延命化を図る。	0箇所	5箇所	5箇所
	港湾施設の整備・改良〔箇所〕			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎:計画期間中に完了　○:計画期間中に一部完了　△:その他(中止, 未実施等)）												
【港湾事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	博多ふ頭 博A-7号線外 道路改良	交差点改良 L=220m	博多港・博多ふ頭地区	◎	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭・博多ふ頭 道路改良	照明灯改良 N=112基	博多港・中央ふ頭～博多ふ頭地区	◎	
A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	西福岡マリナタウン 船揚場改良	レール改良 N=3基	博多港・西福岡マリナタウン地区	◎	
A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	能古 船揚場改良	レール改良 N=1基 スロープ改良 1式	博多港・能古地区	◎	
A02-005	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	東防波堤 改良	延長 L=185m	博多港・その他地区	◎	

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況				
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の改良を実施することにより、港湾機能の確保が図られた。		
Ⅱ 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値
		結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
指標①(港湾施設の整備・改良(箇所))		0箇所	5箇所	5箇所
港湾施設の改良を着実に進めた結果、目標値を達成することができた。				
3. 特記事項(今後の方針等)				
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。				

計画⑩ 港湾事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現（防災・安全）第2期											
計画の期間	令和4年度～令和6年度（3年間）										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の強化に取り組んでいく。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	690 百万円	A	690 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1d末)	(R4d末)	(R6d末)
1	博多港の防災機能の確保、利用者の利便性・安全性向上のため、改良が必要な施設の改良達成率を 0 %から100%に拡大する。	0%	25%	100%
	改良が必要な施設の改良達成率 [%]			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎:計画期間中に完了　○:計画期間中に一部完了　△:その他(中止, 未実施等)）												
【港湾事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-8号線 道路改良	L=1,018m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	箱崎ふ頭 箱A-8号線 道路改良 その2	L=440m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
A02-003	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭・博多ふ頭 道路改良	L=195m	博多港・中央ふ頭～博多ふ頭地区	◎	
A02-004	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	須崎ふ頭 道路改良	L=438m	博多港・須崎ふ頭地区	◎	
A02-005	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	中央ふ頭 岸壁（-7.5m）改良	L=130m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
A02-006	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	改良	臨港道路 照明灯改良	照明灯改良 N=232	博多港・アイランドシティ地区外	-	未実施

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の改良を実施することにより、港湾機能の確保が図られた。		
Ⅱ 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値
指標①(改良が必要な施設の改良達成率(%))		0%	100%	33%
結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因				
目標値の達成には至らなかったが、限られた予算のなかで、緊急性や重要性を考慮した優先順位を踏まえ、着実に港湾施設の改良を行った結果、施設の安全な利用や延命化を図ることができた。				
3. 特記事項(今後の方針等)				
博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指し、「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。				

計画⑪ 海岸事業

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価シート

計画の名称	博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進（防災・安全）											
計画の期間	令和２年度 ～ 令和６年度（５年間）										重点配分対象の該当	-
交付対象	福岡市											
計画の目標	大規模地震に伴う津波、台風等に伴う高潮、海岸浸食に対して海岸保全施設の整備を行い、人命・財産を防護する。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	208 百万円	A	208 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.00%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R1d末)	(R4d末)	(R6d末)
1	海岸保全施設について、適切な整備・改良を行うことにより、博多港海岸の防災機能の確保、施設の延命化を図る。	0m	110m	110m
	老朽化対策を実施した海岸保全施設の延長〔m〕			

事後評価												
1. 交付対象事業の進捗状況（◎:計画期間中に完了　○:計画期間中に一部完了　△:その他(中止, 未実施等)）												
【海岸事業】												
A 基幹事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
A09-001	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	老朽化	港湾	博多港海岸（和白地区）	延長 L=110m	福岡市	◎	
A09-002	海岸	一般	福岡市	直接	福岡市	津高	港湾	博多港海岸（海岸保全基本計画変更）	海岸保全基本計画変更に係る整備に関する案の作成	福岡市	◎	

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		海岸保全施設の改良を実施することにより、台風等の自然災害から人命・財産を防護できる状態が確保された。			
II 定量的指標の達成状況		当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
指標①(老朽化対策を実施した海岸保全施設の延長(m))		0m	110m	110m	海岸保全施設の改良を着実に進めた結果、目標値を達成することができた。
3. 特記事項(今後の方針等)					
海岸保全施設の長寿命化計画や海岸保全基本計画等に基づき、施設の改良等を適切に行うことで、台風等に伴う高潮などの自然災害に対して、人命・財産の防護に努める。					

社会資本総合整備計画事後評価説明資料

計画⑥

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](地域活性化)

計画⑦

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)

計画⑧

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全) 第2期

計画⑨

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)

計画⑩

「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全) 第2期

計画⑪

博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

令和7年12月

福岡市 港湾空港局 港湾計画部 事業推進課

計画の目標

九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」などの面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。

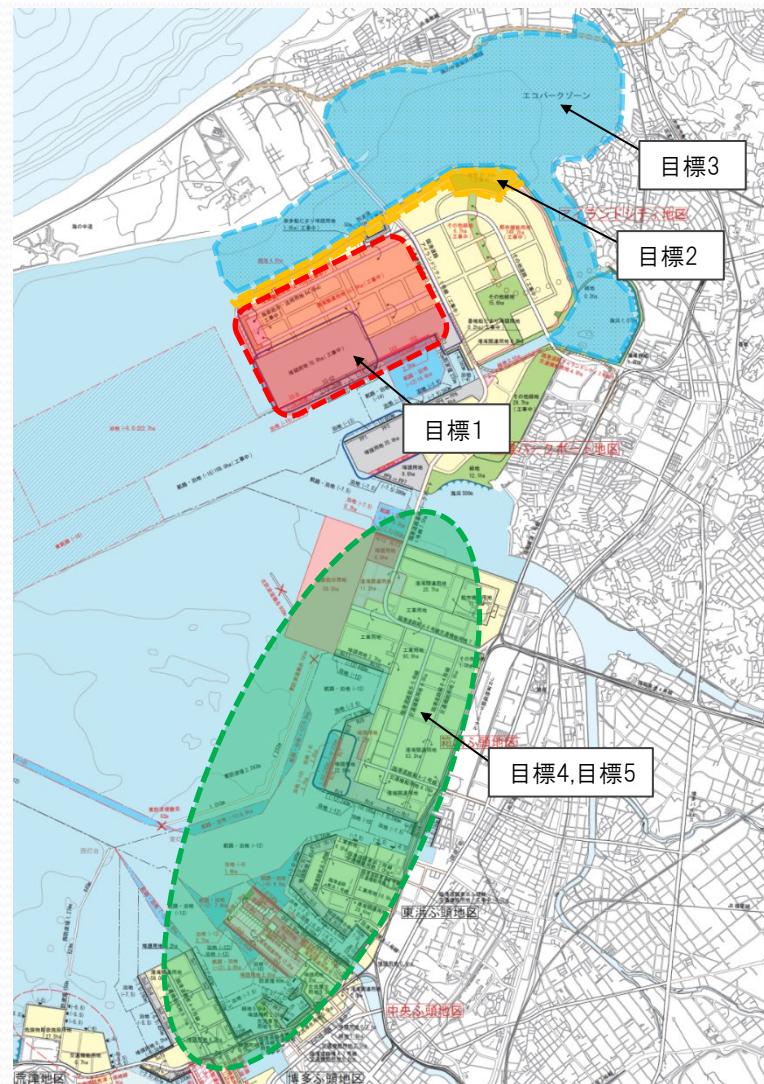
「国際物流」・・・九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化を図る国際物流拠点の形成。

「観光・交流」・・・観光促進、日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化。

「環境」・・・自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成。

計画の成果目標

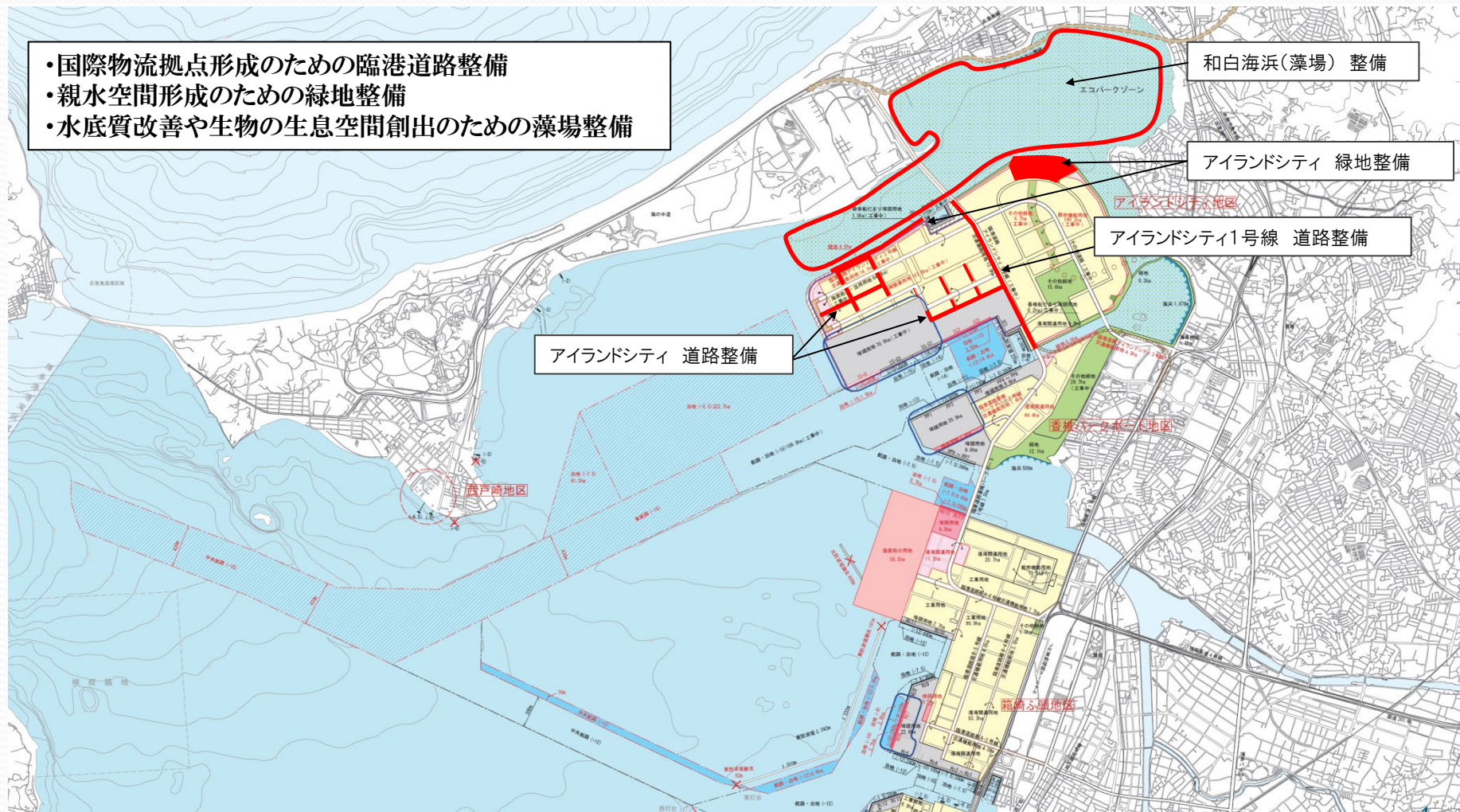
- 目標1. 国際物流拠点の形成に向け、土地分譲の前提となる臨港道路の整備により、**物流施設の立地面積(アイランドシティ地区)**を増加させる。
- 目標2. 港湾緑地(アイランドシティ地区)の整備により、港湾を訪れる市民に親しまれる親水空間の形成を図り、**緑地利用者の満足度を増加**させる。
- 目標3. 藻場の造成等を行うことにより、水底質改善や生物の生息空間の創出を図り、**藻場共生動物の確認種数(延べ)**を増加させる。
- 目標4. 港湾施設について、適切な整備・改良を行うことにより、博多港の防災機能の確保、**利用者の利便性・安全性の向上、施設の延命化**を図る。
- 目標5. 海上輸送機能と連携した緊急物資等の輸送機能確保や防災機能の確保、利用者の利便性・安全性の向上のため、**改良が必要な施設の改良達成率を拡大**する。



要素事業(地域活性化)

計画⑥

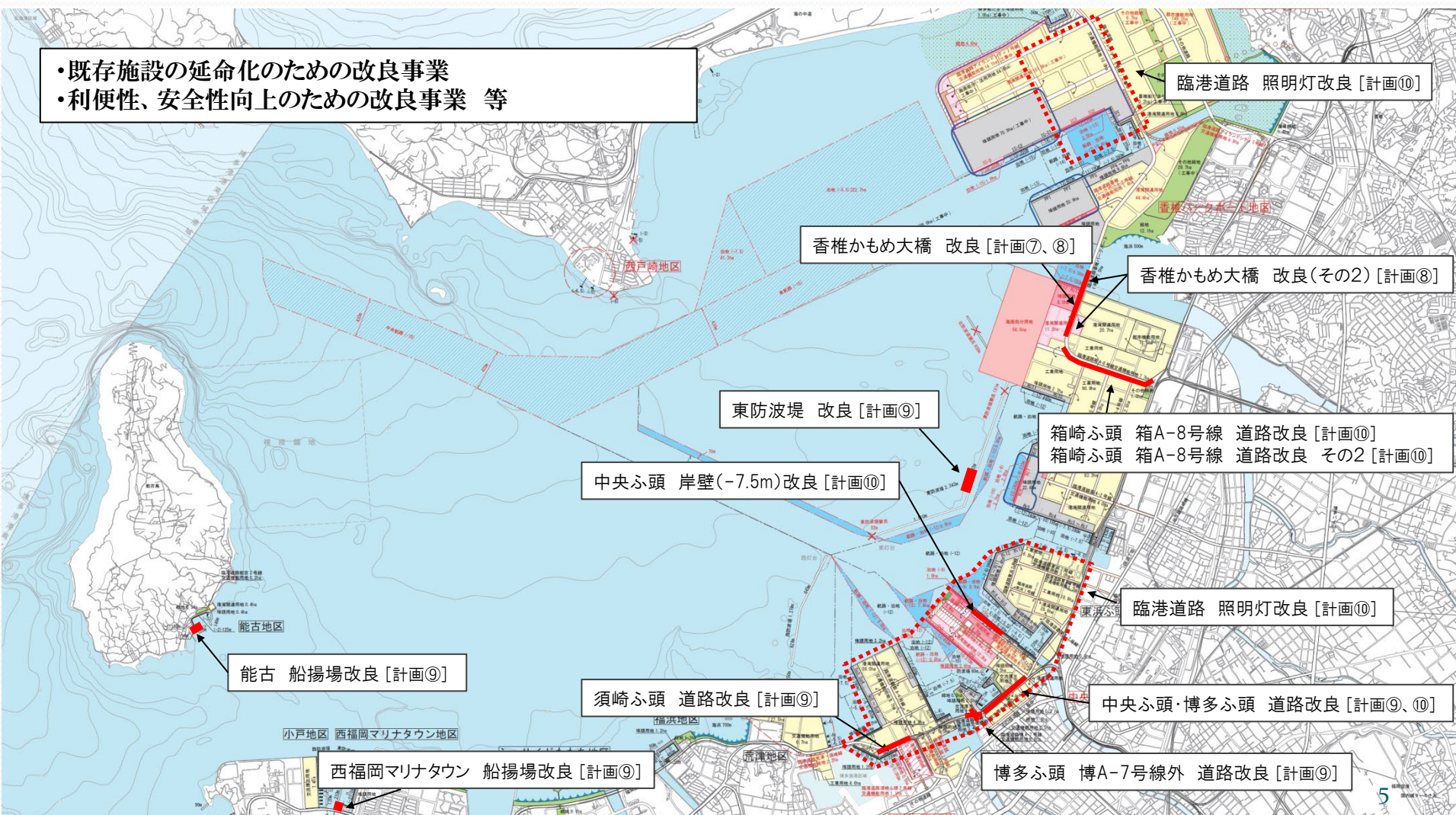
- ・国際物流拠点形成のための臨港道路整備
- ・親水空間形成のための緑地整備
- ・水底質改善や生物の生息空間創出のための藻場整備



要素事業(防災・安全)

計画⑦～⑩

- ・既存施設の延命化のための改良事業
- ・利便性、安全性向上のための改良事業 等



地域活性化(国際物流拠点の形成)

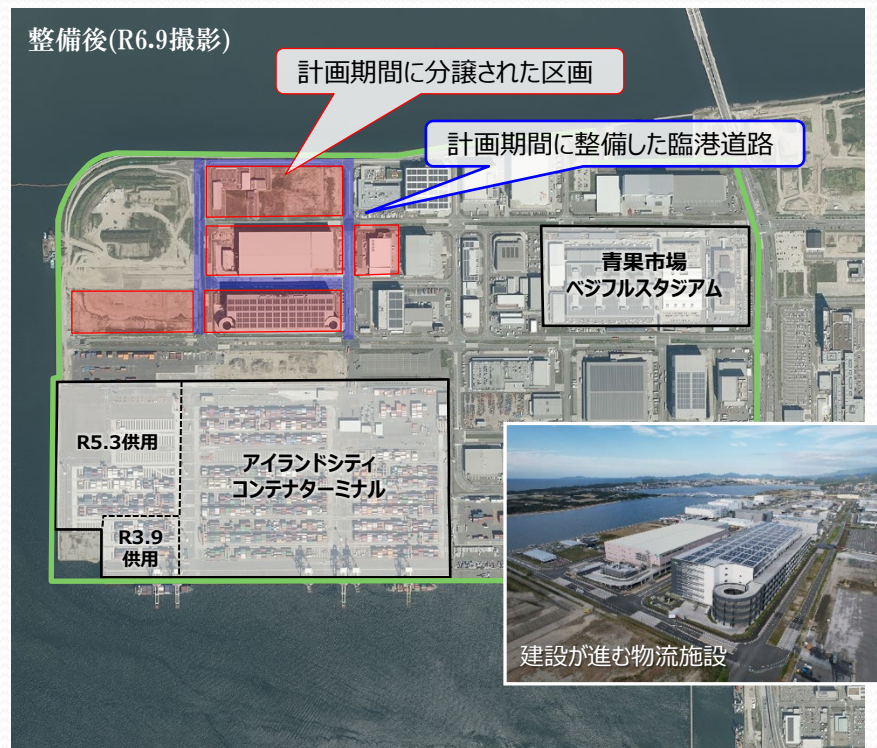
計画⑥

アイランドシティみなとづくりエリアにおいて、臨港道路等の整備を行った結果、物流施設等の立地が増加し、国際物流拠点の形成が促進された。

整備前(R1.11撮影)



整備後(R6.9撮影)



- 計画期間に分譲された区画
- 計画期間に整備した臨港道路
- 臨海部物流拠点の形成を図る区域

地域活性化(親水空間の形成)

計画⑥

アイランドシティにおける港湾緑地の整備を進め、親水空間の形成が図られた。



地域活性化(環境)

計画⑥

藻場の造成等を行うことにより、水底質改善や生物の生息空間の創出が図られた。

○アマモ場造成



アマモ播種シート製作



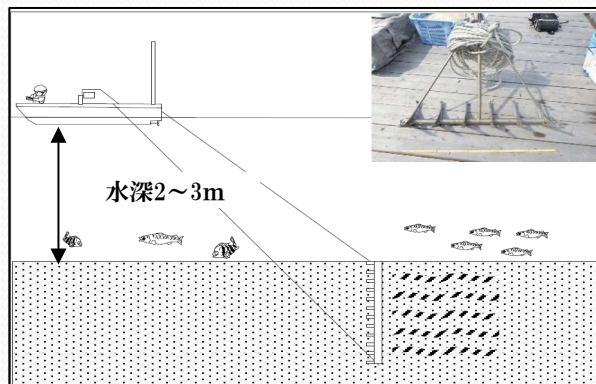
海底へのアマモ播種シート設置状況



アマモに産み付けられたイカの卵

カミナリイカの仲間

○底質改善(海底耕うん)



海底耕うんイメージ



作業船



実施状況



耕うん前



耕うん後

防災・安全

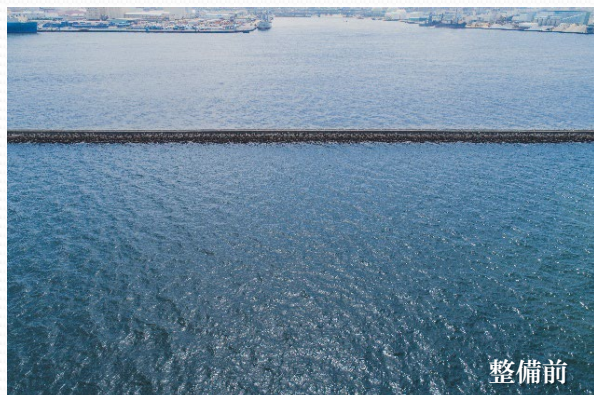
計画⑦～⑩

港湾施設(臨港道路等)の改良を実施し、既存施設の延命化や利便性、安全性の向上が図られた。

○交差点改良(博多ふ頭 博A-7号線外) ※右折レーン改良等による交通の円滑化



○防波堤改良(東防波堤) ※小型船舶を対象とした航路整備により、静穏度を確保しながら、航行環境の利便性、安全性を向上



		指標	当初 現況値 (R1d)	目標値 (R6d)	評価値 (R6d)	達成度
地域 活性化	計画⑥	物流施設の立地面積＜アイランドシティ地区＞	56ha	74ha	74ha	○
		港湾緑地の利用者満足度＜アイランドシティ地区＞ ^{※1}	0%	55%	95%	○
		藻場共生生物の確認種数(延べ)	11種	28種	57種	○
防災・ 安全	計画⑦	港湾施設の整備・改良箇所数	0箇所	1箇所	1箇所	○
	計画⑧	改良が必要な施設の改良達成率	0%	100%	50%	△
	計画⑨	港湾施設の整備・改良箇所数	0箇所	5箇所	5箇所	○
	計画⑩	改良が必要な施設の改良達成率	0%	100%	33%	△

※1 はばたき公園(R6.4一部供用)でのアンケート結果

計画⑧、⑩については、目標値の達成には至らなかったが、限られた予算のなかで、緊急性や重要性を考慮した優先順位を踏まえ、着実に港湾施設の改良を行った結果、施設の利便性、安全性の向上や延命化を図ることができた。

今後の課題

- 国際物流拠点の形成を目指し、アイランドシティ内における物流施設等の立地の前提となる臨港道路の整備を引き続き進める必要がある。
- 親水空間形成のための緑地整備や、生物の生息空間創出のためのアマモ場造成等を引き続き、進める必要がある。
- 港湾施設の改良について、限られた予算のなかでも優先順位を考慮しながら、引き続き、効率的に事業を進める必要がある。

今後の方針

博多港は、これまでも市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、「活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港」を目指し、「物流」「人流」「環境」、さらには「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。

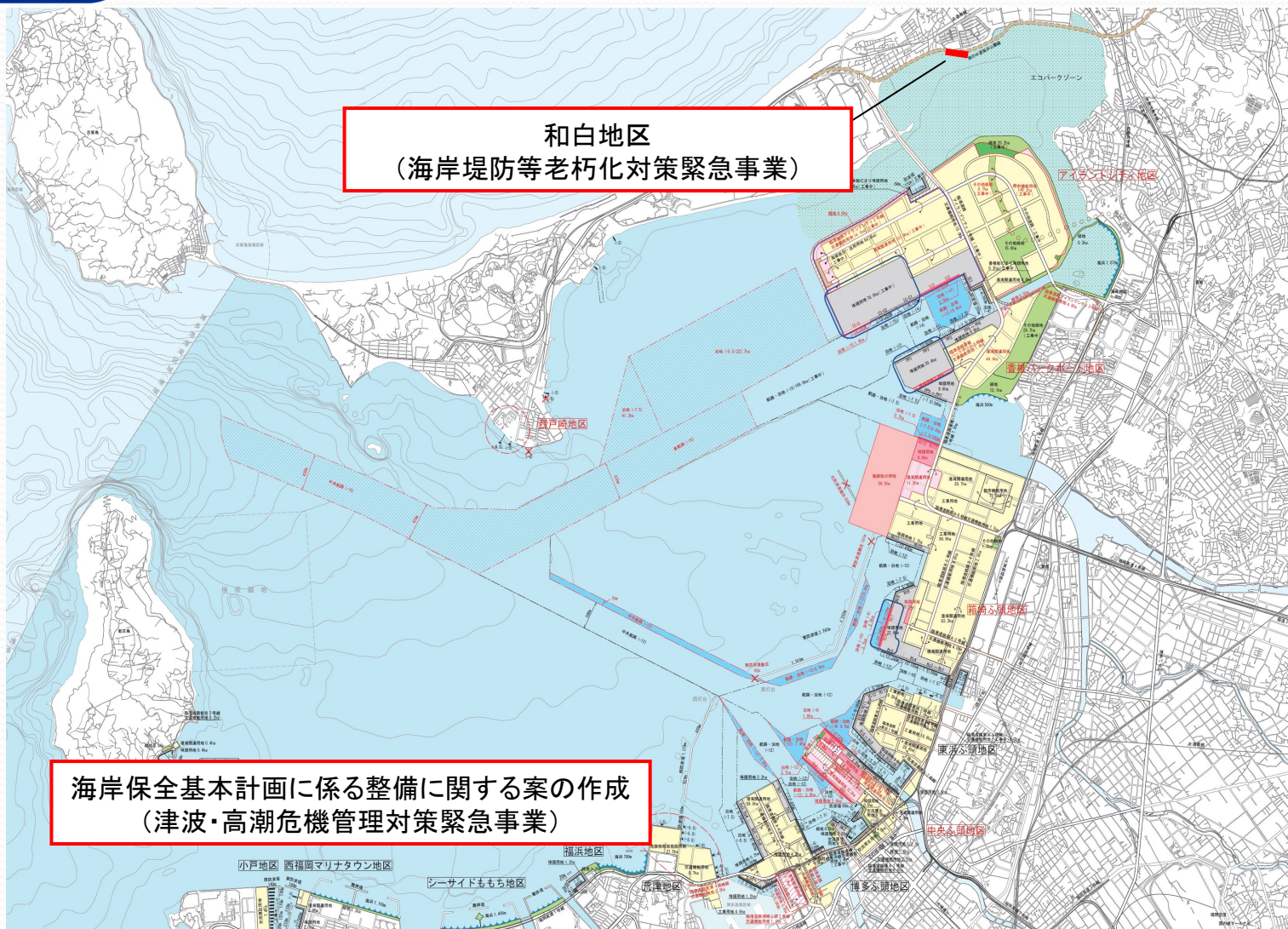
計画の目標

大規模地震による津波、台風等による高潮、海岸侵食に対して
海岸保全施設の整備を行い人命・財産を防護する。

計画の成果目標

海岸保全施設について、適切な整備・改良を行うことにより、
博多港海岸の防災機能の確保、施設の延命化を図る。

要素事業



老朽化対策事業

和白地区において、老朽化した護岸の改修を行うことで、台風、高潮等の自然災害から、生命、財産を防護できる状態が確保された。

整備前



整備後



		指標	当初 現況値 (R1d)	目標値 (R6d)	評価値 (R6d)	達成度
防災・安全	計画⑪	老朽化対策を実施した海岸保全施設の延長	0m	110m	110m	○



今後の課題

海岸保全施設の長寿命化計画に基づき、施設の予防保全対策を適切に行っていく必要がある。

県が策定中である海岸保全基本計画に基づき、将来の気候変動に向けた対策を適宜・適切に行っていく必要がある。

今後の方針

海岸保全施設の長寿命化計画や海岸保全基本計画等に基づき、施設の改良等を適切に行うことで、台風等に伴う高潮などの自然災害に対して、人命・財産の防護に努める。